

交換留学帰国報告書

記入 2019 年 5 月
所属 & 学年 | 経済学部 3 年
卒業予定 | 2021 年 3 月

留学先大学	シンガポール経営大学(SMU)
留学先国	シンガポール
留学期間	約 8 ヶ月 (3 年次に留学)
留学開始 - 終了	2018 年 8 月 12 日 - 2019 年 5 月 1 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

著しい経済発展を遂げる東南アジアの中心都市であるシンガポールでの学びが将来の仕事に役立つと考えたからです。また、アジアに留学をする学生は欧米と比べ少なく、他の留学生とは違う選択をしたいと思ったのももう一つの理由です。シンガポールマネジメント大学(SMU)を選んだのは、SMU が経営に特化した学校であり、ファイナンス、マーケティング、会計といったビジネスに関わる分野について深く学びたいと考えたからです。また、自分の目で東南アジア諸国の実情を見てみたいと思っていたため、ハブ都市であるシンガポールは魅力的でした。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

留学をしたい、英語を話せるようになりたいという気持ちは入学以前から強く持っていました。それが留学への強いモチベーションでした。1,2 年生でアメリカとオーストラリアの短期研修に行かせていただき、現地の学生の勉強に対する熱心な姿勢を目の当たりにし、自分も日本を飛び出し、彼らのように成長したいと思ったのが、長期留学を決めた理由です。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
アメリカ、ノースカロライナ州	1 年	語学研修 (3 週間)
オーストラリア、メルボルン	2 年	グローバルプロフェッショナルプログラム (5 週間)

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

留学に向けた、TOEFL の勉強を始めたのは、1 年生の 11 月頃です。英語の勉強に関しては、オンライン英会話やぎゅっと e を活用し、1 年生の 6 月頃、アメリカ渡航の 2 ヶ月前くらいから始めていました。

⑤海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください (利用していない方は、利用しなかった理由や状況など)。

長期留学の相談に関しては、5回ほど留学室の個別相談を利用しました。シンガポールでの留学を検討するようになったのは海外留学室の先生がシンガポールという選択肢を面談の中で与えてくださったためで、感謝しています。そのほかにも、願書の提出方法、現地に行ってから計画など、役立つアドバイスを留学室の先生からたくさんいただきました。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

① 留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

語学対策については、公式の英語で書かれた TOEFL ガイドを使用しました。大学から提供されていた語学研修講座にも参加しました。TOEFL は合計 2 回受験。語学研修講座の助けもあり、1 回目の受験で必要なスコアを取得することができました。

② 単位取得、単位互換、教職履修などに関してのアドバイスをお願いします。

奨学金も関わってくるので、単位に関しては、1 年生の時からいい成績で取っておいた方がいいと思います。

C. 授業や勉強について

① 留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

セミナー形式の授業形式で、先生が授業中に質問を多く投げかけるため、挙手をして発言することも求められます。さらにほぼ全ての授業に現地の学生と 3-6 人程度のチームを組み、与えられた課題に対してプレゼンテーションを行うプロジェクトワークが課されました。

履修に関しては、オークション方式で授業を取る、Bidding システムにより登録するため、競争率は高く、戦略なしには自分の思ったような授業が取れない場合があります。

< 1 学期目 >

OBHR 104 Introduction to Organization: 週 1 回 3 時間の授業、セミナー形式、組織論に関する授業です。競争環境に応じて企業がどのような組織形態を取って行くべきかを学びました。先生の雑談も多かったですが、今まで知らなかったツールや統計データなども知ることができ、勉強になりました。テストに関しては、専門用語をたくさん覚える必要があります。

OBHR 106 Management People At Work: 週 1 回 3 時間の授業、セミナー形式、会社などの組織において、従業員のパフォーマンスをあげるにはどのような方策があるのかを学ばれました。プロジェクトワークだけでなく、授業内での生徒間でのディスカッションが多くありました。

MKTG 101 Marketing 週 2 回 90 分の授業、セミナー形式、マーケティングに必要な基本的なコンセプトを一通り学びました。名古屋大学のマーケティングの授業と比べてだいぶ内容が深かったです。プロジェクトにおいては、マーケティングがうまくいっていないと思われる企業の現状を分析し、問題の解決策を提案するものでした。これは 2 学期目に受けたマーケティング系の授業の基礎として適していたとおもいます。

SOSS 201 China's Economic miracle 週 2 回 90 分の授業、セミナー形式、社会学の授業で、中国の経済の奇跡がどのようにして成し遂げられたかを文化的、歴史的な経緯を踏まえて読み解くものでした。毎回論文のリーディング、さらに個人課題も多かったため難しかったです。社会学系の授業は、事前知識がない場合勉強が大変になる場合が多いかもしれません。

< 2 学期目 >

FIN 101 Finance 週 1 回 3 時間の授業、セミナー形式、ファイナンスに重要なお金の時間価値、プロジェクト算定、債権、証券価値、そして資本コストの計算などを学びました。投資に関する知識も得られたため、ためになった授業の 1 つです。計算が多くありましたが、G30 の授業を通して基本となるコンセプト、計算方法は一通り学んでいたためそこまで苦労しませんでした。

ACCT 002 Accounting for Entrepreneurs 週 1 回 3 時間の授業、セミナー形式、経営をするに際し必要となる会計、ファイナンスの知識について、ベンチャー企業などを参考にしながら学びました。財務会計、財務分析、管理会計、税制、資金調達などで理解して置かなければならない基礎の部分をしっかりと理解できるのに加え、それらの知識をいかに企業経営に生かすべきか学べるので実用的だと思います。

MKTG 103 Marketing Research 週 1 回 3 時間の授業、セミナー形式、マーケティングに関連した授業で、顧客データを統計ツールを用い効果的なマーケティングを行うために生かす分析方法を学びました。

MKTG 102 Consumer Behavior 週 1 回 3 時間の授業、セミナー形式、これもマーケティングに関連した授業で心理学の概念を応用し、どのように効果的に消費者に商品を買ってもらうかを考えるものでした。

② 授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

必ず予習復習、課題といったこなさなければならぬものをはじめは着実にこなしました。1 学期目は英語でテキストを読むのに時間がかかり、苦労しましたが、それが 2 学期目の学習に大いに役立ちました。授業内で説明されたこと暗記したり、計算練習をするのは当たり前ですが、日本にいては得られない知識はないか、そして将来に活かせるようなものはないか常に意識をして授業を受けていました。

③ 学習面で困ったことはありましたか？ どのように解決しましたか？

学習面では、プロジェクトワークにとっても苦労しました。プロジェクトワークは、能力が高く、要領も踏まえている現地の学生とのグループワークだったため、英語力の差、そして知識の量でもはるかに劣り、初めはディスカッションについていくのがとても難しかったです。さらに、交換留学生は能力が低いと現地学生は捉えているため、積極的に仕事を取りに行かないとチームの一員としてすら認められないといった状況が多かったです。1 学期目は自分の能力不足、そしてチームに貢献したくても貢献できないふがいなさをプロジェクト期間中強く感じていました。そこで、2 学期目には 1 学期目の反省を生かし、自分の貢献できそうなパートを見つけ、先に手をあげて仕事を確保し、グループメイトから

のフィードバックを積極的にもらうようにしました。2 学期目にも知識不足さらにはシンガポール特有のスピード感のあるディスカッションに参加するのは苦労しましたが、自分がチームにいる意味を、成果を通じ、示すことができるようになりました。テストなどももちろん苦労しましたが、プロジェクトワークでの挫折は自分を人間的に成長させてくれたと思います。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

SMU は授業の履修にオークション制度を取り入れるほど競争意識の強い大学です。シンガポールでは就職に際して GPA が非常に大切であるため、学生は夜遅くまで図書館に残って勉強し、少しでも成績をあげようと切磋琢磨していました。時々圧倒されることもありましたが、常に自分も勉強しなければならないと鼓舞される状況でした。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

ネット環境は非常によく、キャンパス内どこでもスムーズに Wi-fi が使えました。施設については、無料のジム、24 時間で印刷設備、予約制の勉強部屋等を備えた図書館もあります。加えて、レクリエーション設備を備えた SMU Lab という勉強施設もあり、勉強するのに適した環境です。SMU はシティエリアにあり、2つの地下鉄と直結しているため交通の便は非常に良かったです。マリーナベイサンズなどの観光地にも 10 分程度でアクセスできる好立地でした。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

オリエンテーション、現地のサークルを活用しました。現地にも、スポーツ系のサークル、文化系のサークル、さらには専門分野に関するサークルもあり、非常に参加しやすかったです。学期初めは比較的時間があつたので、フリスビー、自転車、カヌー、釣り、日本文化、ミャンマー文化などのサークルに参加して友達を増やし、授業と比べ、サークルにおいては勉強は関係なしの付き合いができるためフレンドリーに接してくれる人が多かったため、友好関係は築きやすかったです。さらに、ビジネス関連のイベントも多くあるため、それらにも積極的に参加し、知識を得るとともに仲間を増やすことができました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

授業後は、授業のリーディング課題、練習問題があつたりしたので、授業の復習を図書館ですることが多かった。また、プロジェクトの時期になると、プロジェクトのミーティングがほぼ毎日授業後にあつたのでそれに参加していました。2 学期目にはシンガポールと日本の飲食店のジョイントベンチャーにおいて通訳をさせてもらうことになり、授業後にその商談や会議に参加することも多かった。特にやることのない日には他の留学生と一緒に飲み会をしたり、シンガポールの観光地、安くて美味しいご飯を探しに出かけたりしました。また、まとまった休暇が取れた際には東南アジアの国々に他の留学生の友達と出かけました。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

健康管理については、食事にできるだけ野菜やフルーツを取り入れるようにしていました。また、1学期目にはジムにも友達と一緒にほぼ毎日通い、運動不足にならないように気をつけていました。衛生面については、シンガポール内ではあまり気にしていなかったが、あまり問題はなかったです。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えて下さい。

2学期目が始まってすぐに風邪をひいてしまい、キャンパス内の病院を受診しました。キャンパス保険でカバーされていたため、医療費は無料でした。

③加入した保険の種類について教えてください。

☐留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

☐個人の保険のみ

☒キャンパス保険と個人の保険の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

☐はい（種類：）

☒いい ☐え

F.住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☐ 寮 ☐ 下宿 ☒ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 3 ）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

個室はないタイプのシェアアパートだったため、自分のスペースはしっかりと整理するなど基本的な生活マナーをしっかりと守りました。また、はじめに色々な場所に出かけたりしたおかげでルームメイトとはとても仲良くなったため、人間関係について悩むことはほとんどありませんでした。大学は違いましたが、ルームメイトにはつらいときに相談に乗りあう中で、精神的にもとても支えられました。アパート自体はあまり綺麗ではありませんでしたが、生活するぶんには困ることはあまりありませんでした。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

あまり日本食を恋しいとは思いませんでしたが、たまにインスタントの味噌汁などを飲むと落ちつけるので持って来るといいかもしれません。ただ、シンガポールでも日本の2倍ほどの価格になるものの、ドンキホーテを代表に、多くの日本の商品扱うお店は何個かあるので、現地で調達することも可能です。

④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

『なぜ？シンガポールは成功し続けることができるのか？』

『地球の歩き方、シンガポール』
その他、リ・クアンユーに関する本

G. 留学費用について

① 留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

基本ではあるものの、しっかりと支出の記入を携帯のアプリなどを使って把握しておいた方が良いです。食費を減らそうと思えば、屋台で5ー7シンガポールドル程度（400円から600円程度）でご飯を食べれるので、活用するといいたと思います。さらに教材に関しても、現地の学生が大抵教科書の電子コピーを持っているので、それをもらえばほぼ教材費はゼロですむので活用するといいたです。

② 奨学金はもらっていましたか？

☐ はい （奨学金名：Jasso 奨学金 支給額： 100000 円/月）
☐ いいえ

③ 差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	35000円程度	総長奨励による補助で 200000 円補助をしていただいたため。
保険代	10万円程度	
予防接種・ビザ代	特になし	
住居費	72400円/月程度	3人シェアの部屋、個室はない。大学からの推薦アパートの一つ。
食費	50000円から60000円/月程度	
教科書代	合計 15000 円程度	電子コピーが見つからなかったテキスト一冊とファイナンス用の電卓の費用。

F. 今後の進路や目標、就職活動について

① 卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☐ 進学
☒ 就職
☐ その他（ ）

② 今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

シンガポールでの海外経験を生かすため、自動車、機械系の手メーカーに就職し、経験を積んだのち、海外プロジェクトに関わりた、そしてチャンスがあれば駐在したいと思っています。シンガポールでは実践に近いビジネスの授業、通訳としての経験、さらにいろいろな社会人の方と話すことで、社会の厳しさと面白さを少しですが感じる事が出来たと思います。英語の能力があるのは当たり前ですが、それ以上に経験に裏付けら

れた深い知識（専門分野）、人から信頼されるコミュニケーション能力などをもっていなければ海外でも活躍することはできないと痛感しました。なので、就職してからしっかりと働き、社会人としての基礎を固めたうえで専門性を磨き国内はもちろん、海外で活躍したいと思うようになりました。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報をお願いします。

留学中に就職活動は行っていません。

F.留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

SMU を留学先として選んだことはとてもいい決断だったと思います。SMU での学生生活は思っていたよりもプレッシャーのかかるもので、心が折れそうになったこと、1人で泣いたことも何度もありました。でも、友達に助けをもらいながら、SMU での学生生活をやり抜いたことで実践的な英語力、学びたかった分野の専門知識が身につく、そして人間的な面での成長もできたと思います。日本に帰ってきてからも、プレッシャーを感じることはありますが、留学の経験を思い出すと何でもないと思えるようになりました。

- ②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

やる事が多くても、地道にひとつひとつのことをこなせるようになったと思います。はじめはチームの一員としてプロジェクトに取り組むプレッシャー、小テストなど勉強しなければならぬことがいっぱいある中で苦労しました。それらを何とかこなしていく中で、やる事がいっぱい不安に思うくらいなら取り組み続けようという踏ん切りができました。最近もやる事が多く、不安に思うことはたびたびありますが、取り組み続けることが自分の不安を打ち消してくれると感じています。

英語に関しても、経営に関する語彙など使える語彙が広まり、専門的なことも話せるようになり、スキルとしてのレベルアップを感じます。ですが、それよりもネイティブの前でもアクセントの強い自分の英語を堂々と話せるようになったことが大きな収穫です。これは、グループプロジェクトをはじめ、どうやったらほかの人に理解してもらえるか考えて話し続けた結果だと思っています。これは長期留学なしには得られなかったものだと思います。

また、人とのつながりの大切さも改めて痛感しました。どこに人生に大きな影響を与える出会いがあるかわかりません。少しでも人との出会いを増やし、その人たちのために自分が何かしてあげられることを見つけ、人間関係を広げていきたいなと思います。

- ③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

もしも自分を成長させたい、本気で勉強したいと思うならば留学は行くべきだと思います。本気で頑張った経験、苦しんだ経験は自分を成長させ、自分の中に折れない自信を生みます。

シンガポールでの留学はハードですが、それだけ得られるもの（英語力、知識、グループワークにおけるコミュニケーション能力など）は多いので、ぜひ後輩のみなさんにも挑戦してもらいたいと思います。

また、行く前に自分が何を学びたいか、しっかり考えて一つ覚悟を決めておくといいと思います。それがきつと留学先で辛いことを乗り越える力になり、たくさんのチャンスを呼び込んでくれると思います。